

○クロマグロの混獲回避に係る技術開発一覧表

※当該一覧は、過去の実証調査等に基づいて得られたクロマグロの混獲回避に係る技術等を一覧にしたものである。他方、地域や漁場によって、実態が異なるため、技術の利用可能な条件が異なることに留意されたい。また、ここに掲載されている技術であっても、クロマグロ混獲回避活動支援事業に必ずしも承認されるわけではないことを留意されたい。

NO	分類	技術名	実証海域	技術概要	必要機材等	関連事業（ページリンク）
1	放流技術	逃避促進技術	青森県深浦町	クロマグロは箱網から逃避しやすいため、楊網作業中に相当数のクロマグロの小型魚を発見した場合には、その時点で揚網作業を注視すると同時に昇り網の先端部を大きく開放することにより、クロマグロを箱網から逃避させることが可能。	なし	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業及びイノベーション創出強化研究推進事業（パンフレット）
2	漁具改良	選別網	青森県	クロマグロの体重と胴周長の関係のもとに目合を決定した選別網を設置することにより、クロマグロ大型魚と小型魚を生きた状態で選別することが可能。	選別網	
3	漁具改良	緊急放流口	青森県	定置網の箱網内の一番奥に、開閉可能な緊急放流口（ERウィンドー）を設けることにより、当該放流口からクロマグロを追い込むことで生きた状態で放流することが可能。	緊急放流口	
4	漁具改良	金庫網	青森県	ブリ等の魚は箱網内に設置した小型の金庫網に入りやすいが、クロマグロは金庫網に入りにくい性質を利用することにより、クロマグロと他魚種を生きた状態で選別することが可能。	金庫網	
5	漁具改良	のれん網	京都府伊根地区	定置網内にのれん状の網を設置することによって、表層を遊泳するクロマグロ小型魚とイワシ類及びブリ類を分離することが可能。	網（網丈40m程度）、鉛ロープ、たなわ、浮子	太平洋クロマグロ漁獲抑制対策支援事業（平成30年度成果報告書）
6	漁具改良	分離落網	岩手県釜石地区、大船渡地区	定置網の魚捕部に漏斗網（1段目）、天井網を有しない一時収容部（2段目）、天井網を有する金庫網部（3段目）から構成される袋網を設置することで、クロマグロは2段目の上部から放流でき、それ以外の魚は3段目で漁獲することが可能。	分離落網	
7	漁具改良	四角タモ網、選別台	石川県門前地区	網の締め込みが少なく、小型魚を選択的に掬い取る網（四角タモ網）及び取り上げたマグロを逃がすための選別台を設置し、小型魚のみを箱網内へと放流することが可能。	<ul style="list-style-type: none"> ・四角タモ網（敷き網、鉄パイプ、ロープ、浮き子等） ・選別台（化粧合板） 	
8	機器	水中灯	石川県	夜間操業時に水中灯をクレーンの先端から箱網内に垂下することで、クロマグロを早期発見することが可能。	水中灯	太平洋クロマグロ漁獲抑制対策支援事業（平成29年度成果報告書）
9	機器	遠隔式魚群探知機	青森県、静岡県等	遠隔式魚群探知機を活用して、陸上においてクロマグロの入網を事前に把握し、水揚げのタイミングを調整するなど、クロマグロの漁獲を抑制することが可能。	遠隔式魚群探知機	